

平成27年第5回田原市教育委員会定例会会議録

1 開会 平成27年5月15日 午前10時00分

2 閉会 平成27年5月15日 午前11時17分

3 会議に出席した委員

花井 隆教育長、横田 威委員、金原真人委員
山本明子委員

4 会議に欠席した委員

土井真紀江委員

5 会議に出席した職員

教育部長

前田和宏

教育部次長兼図書館長

豊田高広

教育総務課長

鈴木 努

学校教育課長

鈴木欽也

スポーツ課長

大羽耕一

文化生涯学習課長

鈴木洋充

教育企画室長

三竹雅雄

教育企画室主任

清水綾子

6 議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第5回定例会議事日程

日 時 平成27年5月15日(金)
午前10時00分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議題
 - (1) 平成27年度一般会計教育費補正予算について
- 4 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 人事異動について
 - (3) 平成27年度政策課題について
 - (4) 学校再編について
 - (5) 小中学校への寄附について
 - (6) 田原市生涯読書振興計画について
 - (7) 平成27年度共催・後援事業について
 - (8) 平成27年度学校評議員名簿等について
- 5 その他

開 会 午前10時00分

教育長

皆さんおはようございます。

御多用のところ、御出席くださいますありがとうございます。

土井委員から、欠席の連絡がありましたので、ただいまの出席者は4名です。

定足数に達していますので、平成27年田原市教育委員会第5回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、金原委員と山本委員の御両名を指名させていただきますので、よろしく願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ちまして、教育長報告事項を私から願います。

5月15日付けの教育委員会報告としてまとめました。

4月は、教育委員会以降、文化協会、教頭会、子ども会連絡協議会総会などの会議に参加させていただきました。

4月23日に東海北陸都市教育長協議会が福井市で開催され、福井市に東海3県と北陸3県の教育長たちが集まりました。私は分科会等で参加したのですが、ふるさと教育について各市で少子化に向けて、ふるさとを大事にする活動をしっかりやっているなという印象を受けました。それぞれ、特に小さな市については北陸側も力を入れてやっているなという印象を受けました。

4月25日には四つの会議があり、あいさつ等をさせていただきました。4月27日には三河部都市教育長会議があり、4月28日は阿南町の小学校があいさつに来庁されて、その後、阿南町の方は伊良湖岬小学校に出かけて交流についての話し合いが行われています。

それから5月3日に糟谷磯丸除幕式がありました。

5月8日は、三河小中学校長会、5月14日は市教委と高校の連絡会が福江高校でありました。

それから、第50回全日本級別サーフィン選手権大会がけさありました。

日本各地から500名ぐらい集まり、車のナンバーは湘南を始め九州や、北は北海道からも来ていました。赤羽根のロケーションの良さを皆さん語っておいりましたので、また期待が持てるかなと思います。

あと、イベント報告ということで新聞記事を含めて掲載しています。福江中学校のドリームの会が、5月10日、ラベンダーの苗植えということで、ボランティアも含めたいい活動になっていると思います。

5月11日、「お田植祭」ということで、JAがサンテパークで行ったお祭りに野田小の子供たちが田植えおどり&豊年おどりを披露して盛

り上げています。童浦小学校の田植えの様子などが新聞に掲載されており
ます。

また、明日は陸上大会、翌週には田原凧まつり、運動会が予定されて
います。

あと5月11日から20日まで春の交通安全運動が展開されています。
選挙の関係で、今年は5月の春の交通安全ということで、それぞれ交
通立番等をやっていただいています。去年は3人ぐらいだったと思
いますが、今年はまだ今のところ死亡事故ゼロなので、年間ゼロが達成
できるといいと警察署も含めてやる気になってやっています。今はそ
ういう動きの中で小中学生、特に市教育委員会に大きな報告も入っ
ておりませんので、順調な1学期の滑り出しができていのかなど感じ
ています。それでは、何か御質問等ありましたらお願いします。

(「ありません」と言う者あり)

教育長

では、教育長報告事項は終わり、議題に入りたいと思います。

初めに、議案第19号 平成27年度一般会計教育費補正予算について
議題といたします。

事務局、説明をお願いいたします。

教育総務課長

では、最初に教育総務課の所管でございますが、歳出予算といたし
まして田原中部小学校管理運営事業へ20万円を需用費に計上させて
いただいております。

内容につきましては、寄附金を充てるということでございます。匿
名希望の方からの20万円を御本人の要望で田原中部小学校の図書充
実に充てさせていただくものでございます。2月18日に頂いた分につ
きましては前回の教育委員会で報告させていただいております。

その後、4月に平成26年度分と27年度分ということで頂いており
ますので、2回分をまとめて今回の補正に計上しているものでござい
ます。

1枚おめくりいただきまして、2枚目の田原中学校管理運営事業に
つきましては当初寄附金を図書の方へということでお話しをいただ
いていたものですが、の次回へ見送らせていただきたいと思います。

それから3枚目の歳入補正でございます。も、教育費寄附金11万円
ということで、先ほど田原中部小学校の図書充実ということで匿名の
方からの10万円と4月27日に森島悦夫様から教育振興ということで1
万円頂いておりますが、この1万円につきましては、今回は歳入の補
正のみで、歳出についてはほかの寄附金等も考慮して後日検討して
いくもので歳入のみ補正するものでございます。

以上です。

学校教育課長

次に、学校教育課でございます。ことしから新たに加わります共育
推進事業では、国庫支出金と県支出金の助成対象となりました。

2枚めくっていただきますと事業説明がございします。学校を核とした地域魅力化事業として、市から応募したところ90万3,000円が国の助成対象事業となりました。

それから、シニア地域デビューモデル事業として、70万円が県の助成対象事業となりました。

学校を核とした地域魅力化事業は、学校とその周辺の地域の方たちの関わりを通して、学校を核とした学校教育活動から地域に様々なことを発信し広げていく、地域の活性化につなげていく、あるいは地域の方たちに御協力いただいて、子どもたちを地域で支えていただく、そんな事業でございします。

先週日曜日、実際に福江中学校で福江中学校近くの農地をお借りしてラベンダーの栽培を行う一つの事業が始まりました。福江中学校のボランティアグループが大勢集まって、地域の方の指導を受けながら活動を始めておりました。ラベンダーの栽培を通して、それを活用して地域の魅力化を中学生がアピールしていく事業であります。ほかにも幾つか関わっている学校がありまして、学校に応じてそれぞれに事業を進めていくものでございします。

右側のシニア地域デビューモデル事業は、児童生徒とシニアのふれあい活動による学校支援を通じて、人と人をつなげて地域コミュニティの強化を図り、地域で子どもを守り育てる機運の向上を図るものでございします。以上です。

文化生涯学習課長

文化生涯学習課です。

児童クラブ運営事業の補正予算の資料を御覧いただきたいと思います。

こちらの補正予算につきましては、当初予定しておりました児童クラブの受入れについて、常時対応人数については予定の範囲内ですが、クラブごとに人数差があることによる指導員の過不足、発達障害等通常の基準では運営が難しい児童クラブに対する指導員の加配、それから想定よりも相当多くありました長期休暇中の児童クラブの増設に伴う補正予算でございします。

内容としては、夏期の増設は、当初予算で衣笠、田原東部の2か所を予定していましたが、それに田原中部、童浦、神戸、福江を加えまして、夏期の長期休暇中の臨時増設を6か所にするものでございします。

補正予算の内容としましては、これらの開設に伴う臨時職員の賃金、約440万円、その開設に伴う各種需用費、通信、電話の借受け等による役務費の補正、それからクリーニング代等の手数料、自治会の集会所を借りて運営する児童クラブの施設の賃料、それから熱中症対策等に万全を期すために空調設備の改修等を行うために工事請負費を当初予定しておりましたが、備品購入費ということでエアコンの購入、それから19節負担金で86万円余ありますが、これは自治会施設のエアコン

	<p>設備を完備してもらって児童クラブを開設するため、自治会でエアコンの修繕をしてもらうわけですが、それにかかる経費を市で負担するために負担金の計上をさせていただいております。</p> <p>もう1ページめくっていただきまして、これらに伴う、利用者の増加分の利用料が約149万円、歳入予算の補正として計上させていただいております。以上です。</p>
図書館長	<p>続きまして、図書館の図書館資料収集事業に関する補正説明です。</p> <p>ことし3月6日にふるさと寄附金として受納した10万円につきまして、図書館の図書購入費に充当するものです。以上です。</p>
スポーツ課長	<p>それでは、続いてスポーツ課です。</p> <p>1枚撥ねていただきますと、地方創生交付金の繰越しによる減額補正でございます。これは地方創生交付金事業として、平成27年度予定したものを前倒して平成26年度の繰越事業として既に取り組んでおりますので、その分を減額するものです。内容はノルディックウォーキングの資材やサイクリングマップですので、よろしく申し上げます。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>各担当課長から説明が終わりましたので、御質問等ございましたら、お願いいたします。どうぞ。</p>
金原委員	<p>図書館のふるさと寄附金について。ふるさと寄附金とは、ふるさと納税のことですか。ふるさと納税をしていただいて、図書館へ回っていったということですか。</p>
教育部長	<p>そうです。特に用途の指定はなかったので、市で振り分けているものです。</p>
教育長	<p>ふるさと寄附金の中の教育に関する部分ということで、今のところ図書館が多いですか。</p>
図書館長	<p>図書館が多いです。毎年このぐらいの規模であります。</p>
横田委員	<p>共育関係で、国と県の補助金を使って二つの事業をやっていくわけですが、今後の見通しはどうか。何年間これを続けていくのですか。</p>
学校教育課長	<p>いただいた予算ですと単年度です。</p>
横田委員	<p>来年についてはどうですか。</p>
学校教育課長	<p>今のところ、まだはっきりしておりません。</p>
横田委員	<p>新しく共育事業ができましたが、事業を継続していかないと意味がないですよね。</p>
学校教育課長	<p>補助金が出ないことも想定して予算確保しておりましたが、国庫もいただけるということがわかったものです。</p>
横田委員	<p>国などの助成対象になることは、わかります。どういうふうにかかされていくかという目的をきちんとしていかないと、ただお金をもらうために事業をやって学校に逆にしわ寄せがいき、忙しさが出てくることになってしまいます。</p>

学校教育課長	先ほど言いましたように国のお金がつかなくても何とか市で予算を確保して今後も継続してやっていく形で予定しておりました。結果的にたまたま今回は国庫からも3分1補助してもらえることになったものです。
横田委員	現在、福江中学校はボランティアグループでラベンダーをやっています。本年度は予算化されてそのお金を使えるのだけど、来年度なくなってしまえば、お金をどうするかを学校が今度考えなければいけないのです。
学校教育課長	今、横田委員から御指摘いただいたように、こちらから学校の多忙化を招くような形にはしないように気をつけていきたいと思えます。学校が無理なく子どもたちの活動をやっていけるようなことを支援する姿勢を大切にしながら進めていきたいと思えます。
教育長	単年度でと言わず、これを起点に継続的な試みを学校にも働きかけて、今ここに載っている学校に限られているので、ほかの予算も含めて見直しながら継続可能かというところも含めて、間違ってもお金があるからやれみたいなお仕着せがましいものでは希望が持てないと思えます。
横田委員	はい。再確認してほしいことは、先ほど教育長さんもいろいろな会議でふるさと学習のことについていろいろな取組をしていると聞きました。何年か前の教育振興計画の中にふるさと学習が新しく出てきて、それからだんだん人が替わっていくと薄れてしまうので、再度ふるさと学習について校長会議で確認していただけるとありがたいです。
学校教育課長	はい。ふるさと学習を推進するための事業を別の担当者が何年か継続しておりますので、ぜひその辺ももっと活発に進めていけるように声をかけていきたいと思えます。
教育長	そのほかいかがでしょうか。
金原委員	スポーツ課にお伺いします。ノルディックウォーキングの競技内容と田原市内ではどこでやるのか教えてください。
スポーツ課長	2週間ほど前のスポーツ推進員研修会でやりました。スキーのストックをついて歩く競技です。 スティックを持つことによって、二足歩行する人間としては重心が適正な位置で歩行ができ、ひじを曲げて歩きますので、肩甲骨もよく動き全身運動になるということで、ニュースポーツとしてことは力を入れていきたいと思っています。この後、夏か秋、日程は決まっていないですが、今は7月上旬ぐらいには一般の人を公募して開催していきたいと思っています。今一番ニュースポーツの中で力を入れていこうという事業で進めております。
金原委員	タイムを争うものですか。
スポーツ課長	タイムを競うものではなくて、本当に緩やかに自分の体力に合わせた歩き方とか、スティックを使ってのストレッチなどのいろいろな使

い方があります。この間講師として来ていただいた柳本先生はノルディックウォーキングの第一権者で本もたくさん書いていて、協会にも関わっている大学教授です。次回の一般の方対象の講習もその方にもう一度来てもらう予定をしております。

健康課とタイアップしてその事業を進めていますけど、高齢者の足、ひざ、腰が痛くてつえを着かないと歩けなくなった人がノルディックウォーキングをやったからは、つえなしで歩けるようになった。そういうような流れもあって、健康志向の中で積極的に進めたいという内容になっています。

横田委員 一般の市民に広げるにはアピールが必要ではないかと思います。
スポーツ課長 ウォーキングだけじゃなくて、一般に広げる仕かけもまたしていきたいと思います。

教育長 そのほかにどうでしょうか。山本委員。
山本委員 児童クラブですが、例えば赤羽根とか、ここに出ていない児童クラブは既に開設されているのですか。

文化生涯学習課長 あります。既存のクラブで対応できるということで、今回の補正の中には載っていません。

山本委員 そういうことですね。はい、わかりました。
教育長 では、お諮りいたします。
議案第19号 平成27年度一般会計教育費補正予算について原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。
(「異議なし」と言う者あり)

教育長 御異議がないようですので、議案第19号につきましては原案どおり可決いたしました。

教育長 次に、報告事項に入りたいと思います。
初めに、教育委員連絡報告事項について、お願いします。
では、横田委員。

横田委員 それでは、私からお願いします。
前回からきょうまでで5月1日に教職員総会に出かけました。以上です。

金原委員 私も、教職員総会に出席しました。以上です。
山本委員 私も教職員総会に出させていただきました。ことしも各教室、各部会を見学させていただきました。内容までは掘り下げた見方ができないですけども、先生方の熱心な姿が見られて良かったと思います。
以上です。

金原委員 教職員総会として集まるのは去年からですか。
教育長 教職員総会として集まるのは去年からです。以前は秋にも集まる機会があったわけですが、今は5月のゴールデンウィーク前が第1回で、その後は計5回ぐらいそれぞれの部会で会議が開かれるということで、御承知いただけたらと思います。

教育部長

続いて報告事項2 人事異動についてお願いします。

私から5月1日付けの人事異動について御報告いたします。

まず私の文化生涯学習課長兼務がとれて、併せて鈴木洋充さんが文化生涯学習課長になりましたので、お願いしたいと思います。

では、自己紹介をお願いします。

文化生涯学習課長

先ほどもありましたように5月1日付けで文化生涯学習課長ということで辞令をいただきました。

ここへ来る前は総務課で主幹として、今年に入ってからには主に統一地方選ということで選挙関係をメインでやってきました。

これまでの職の中では教育委員会は初めてでございます。

色々な流儀やそれからやっていることも違いますので、なるべく早いうちにどんな様子かを把握して、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

以上です。

教育長

人事異動について何かありますか。

続いて、3 平成27年度の政策課題について、報告をお願いします。

教育部長

政策課題としては、次のページから順次進めさせていただきます。

まず1点目が総合教育会議の設置と大綱の策定でございます。

これにつきましては、総合教育会議、これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律が4月から改正法が施行されたということで、教育委員会制度が変わったわけなのですが、その中で、ここで4月に市長が替わり、この5月か6月の早いうちに一度、市長と教育委員さんで構成した総合教育会議を開いていこうということで今後、日程調整をしていきたいと思っております。

その会議の中で大綱を作成していくわけですが、今ある教育振興基本計画の基本理念、ふるさと学習、ふるさと人材育成、そんなことを根幹に据えて大綱を考えていきたいと思っております。

大綱に関しては秋口ぐらいまでに何とかできたらと思っておりますので、今後、教育委員さんにも御相談させていただきますので、よろしくをお願いしたいと思っております。

それが総合教育会議と大綱の関係でございます。

次の小中学校の再編については、教育企画室長からお願いします。

教育企画室長

小中学校の再編についての方向性といたしましては、学校の小規模化の解消のために地域の皆さんと意見を重ねながら地域の意見を十分に尊重して学校全体配置計画を段階的に進めていくものです。

今年度の取組としては、まず野田中学校の田原中学校への統合、伊良湖岬中学校の統合先の決定、泉中学校の統合先の決定、あと堀切小学校と伊良湖小学校、野田中の跡地利用について市内の検討を含めて進めていこうと考えております。

野田中学校の田原中学校への統合につきましては、主に通学体制と

学校教育課長

しまして、路線バスのバス停までの行き方など、だんだん詰まってきておりますので、近々決定していきたいと思っております。

伊良湖岬中学校の統合先と泉中学校の統合先の決定につきましては、先だって各校区会長さんと相談させていただきまして、その際、統合先を検討する会合を持っていこうということで、メンバーや第一回目の打合せ時期についてなどを今進めているところでございます。6月ぐらいには一度会合を持ちたいと思っております。両方の地区といたしましても会合だけをやっていくというよりも、保護者との意見交換会を重ねながらやっていければと考えておりますので、よろしくお願い致します。

再編については、以上です。

今のページの裏面を御覧ください。学校教育課の本年度の政策課題として新しく学校教育課の事業となりました共育の推進を挙げさせていただきます。

先ほども説明したことになりますので、細かなことは省かせていただきますが、学校教育の中だけでなく地域との連携をより図って子どもたちの健全な育成を進めていくということでございます。

3番の実施内容です。一つ目には具体的な事業をお示ししてあります。二つ目は、子どもたちを見守っていただけの方たちが校区にはたくさんいらっしゃいます。いろいろな組織があるのですが、学校で組織の成り立ちや構成員等もまちまちのようで、中々把握がしきれていないという面があります。今年度のうちに一度どういった団体の方たち、どういった人たちが学校を見守る活動をそれぞれの校区でやってくださっているのかを一度洗い出して、わかりやすく連携が図れるように考えております。もちろん学校教育課だけではできませんので、市民協働課、文化生涯学習課とぜひ連携をとりながら進めていけるといいと考えております。

それから三つ目、不登校や問題行動など、問題のある子ども、家庭というのがどうしてもあるわけなのですが、その家庭支援について、やはり学校教育の中だけではとてもできない。そういった面ではほかの課とも連携を図りながら、子どもの問題は子どものことだけをやっていてもなかなか解決できないということがあるものですから、家庭への支援もうまく図っていけるように考えております。

四つ目、その他として学校教育振興計画につきましては、今のところ学校教育課としてはまだ準備ができていないと考えており、ことしを準備期間という形で十分に練り上げて、来年度に完成する方向で今考えているところでございます。

学校教育課からは以上です。

文化生涯学習課長

文化生涯学習課からお願いします。

同じページの右側になります。主な課題としましては、文化生涯学

習振興計画の策定を挙げております。

こちらの計画につきましては、現計画が平成28年までになっているのですが、冒頭、教育総務課からもありましたように教育大綱の策定の関係もございますので、一年前倒しをして平成27年度中に何とかこちらの計画の改定をしていきたいと考えております。

改定に当たりましては、ここに書いてある課題、緊急課題対応プラン関係、それから現計画の効果測定的なものも踏まえながら次の改定に向かっていきたいと考えております。

推進体制ですけれども、基本的には策定会議方式ということで、策定会議を設けた中でプランを策定していきたいと考えております。あと、各種の民意の反映の部分につきましては非常にタイトなスケジュールになりますので、市民会議を設けてのキャッチボールは非常に難しいと考えておまして、主には関係団体、庁内関係各課とのヒヤリング等を踏まえながら策定へ向けていきたいと考えております。

大雑把なスケジュールになりますけれども、11月ごろには素案をある程度まとめまして、パブリックコメント等を経て3月の教育委員会に上げていきたいということでございますので、よろしくお願いたします。

スポーツ課長

それでは、続きまして次のページ、3ページをお願いします。スポーツ振興計画の策定についてということで、いろいろな計画話がありましたけれども、スポーツ課においても田原市スポーツ振興計画を策定するという、「スポーツ大好き田原」の気運、2020年東京オリンピックの気運と連動させたスポーツ振興計画をつくってきたいということで、昨年度のアンケート調査を始めとしてみう既に動いているところです。今後のスケジュールのとおり、今年度末には策定をして教育委員会に諮っていきたいと考えております。よろしくお願いたします。

図書館長

6番目、まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画の策定についてです。昨年度から策定作業を開始しまして、ことしの3月の教育委員会定例会において委員の皆さまの御意見も賜ったところですが、昨年度末にそれらを踏まえて、またアンケート結果なども踏まえて素案を作成し、政策推進会議において報告をしたところです。既に市民意見の募集も終わりました。

今後のスケジュールですけれども、6月中には計画を策定し、教育委員会において決定としたいと考えております。7月に冊子としての編集作業を含む最終策定作業をいたしまして、8月には計画の公開、冊子の配布等のPRを行いたいと考えております。

内容につきましては後ほど、別の項目で報告をさせていただくことになっておりますので割愛いたします。以上です。

教育長

ただいま事務局から説明がありました平成27年度の政策課題につい

	て、御質問等ありましたらお願いいたします。
横田委員	学校教育課の3番の実施内容、二重丸の三つ目の不登校と問題行動とあわせて、いじめを入れていただければと思います。昨年からいじめについて、いじめの緊急対策の計画案もつくっております。
学校教育課長	はい、ありがとうございます。
横田委員	いじめ専門の相談電話もつくったことですし、本年度も引き続きいじめについても取り組んでいただけたと思います。
学校教育課長	いじめ、不登校、問題行動等ということで、一番頭につけたいと思います。
教育長	そのほかはいかがでしょうか。
横田委員	例えば児童クラブで問題になっていることがあります。教室で年に1回か2回会議をしてそこでのいろいろな問題を吸い上げるような、例えば赤羽根児童クラブに行き、校長先生や保護者の代表と会議して、そこから意見を吸い上げてくる、そういうざっくりばらんな意見を聞くと、いろいろな声が出てくるんじゃないかな。できることとできないことがあると思うのですが、学校再編についてもいろいろな会議を持って取り組んできたので、いろいろな計画を策定していくにはいろいろな意見を聞くといいのでは。20人も30人も集まる大きな会議ではなかなかしゃべれない方が多いので、そういうことができるといいかなと思います。
教育部長	できるだけそういうような意見を聞きながら、事業を進めていきたいと思います。
教育長	で、例えば校長なり学校で、どんなふう運営されているのかを指導員さんともお話ししながら、そういうことが実施可能な方向で、これも連携だと思いますが、どうですか。
文化生涯学習課長	児童クラブと放課後子ども教室の関係ですと、もちろん今までも日報はもらっているのですけれど、そういったクラブの情報を生の声で伝えるという機会自体があまりなくて、当然それがないので、学校との連携にもなかなかつながっていかないということだったと思われまます。ことしから主任指導員制度を導入して、主任指導員の方たちに定期的に集まっていただいてクラブの状況等について話し合いをする機会を設けています。ただ、主任指導員の方の熟度自体もまだまだこれから上げていかないといけないところでもありますし、課題の要点自体もまだちょっとまとまっていない状況ですので、そうした連絡体制などの熟度がもう少し増して来たらぜひ学校関係と情報交換を進めていけたらと思います。
横田委員	情報を持っているのがサポートセンターの嘱託職員です。いろいろなところを回って担当者と個々に会話しています。サポートセンターで話を聞くと意外と情報が入って来るかもしれないです。
教育長	ではまた、放課後子ども教室を含めて児童クラブの報告について、

教育企画室長

どういう形になっていくかわかりませんが、今からさらに進化する形を求めていくことは大事かなと思います。全体の運営がうまくいくように進めていけたらと思いますので、お願いいたします。

そのほかいかがでしょうか。

それでは、次に、学校再編についてお願いします。

学校再編の状況について説明させていただきます。5ページ目、野田中学校が田原中学校へ行くということで、教育長を始め部長ほか職員で田原中学校と田原中学校区の各小学校のPTA総会に出向いて簡単に説明をしてまいりました。

それと、先ほどの政策課題のところでも少しありましたが、跡地利用を進めております。堀切小学校のところには防災対策課で津波避難施設（マウンド）をつくろうという計画が大体煮詰まっております。今年度設計をして、28年度、29年度で建設をするというような流れになっております。

そうしますと、今のところ地元と話をする中では、校舎と体育館を壊して、そこへマウンドをつくって、グラウンドをみんなの憩いの場所として残すなど、今後考えていくスケジュールになっております。

次に、伊良湖岬小学校については、平成32年度の新築開校に向けての事業も、今から測量や買収する予定地の物件補償調査、あと基本設計などを今年度進めていこうと考えておりますので、よろしくお願いたします。

次に、児童生徒数・学級数の見込みということで、学校別の人数や児童生徒の年齢別の人数について平成27年4月1日現在の住民基本台帳の数字で拾って示してあるものがございます。

あと、6番の童浦小学校が平成33年度になりますと497人で500人近くなってきました。17学級ぐらいになっていくということですので、施設面の整備が必要になってくる見込みです。

また亀山小学校につきましては、平成33年度には全校で37人となっております。1枚めくっていただきますと、児童数の見込みとして現在、亀山小学校で2歳児が4人、ゼロ歳児、1歳児についても各6人という状況になってきました。この、2歳児の子が3年生、4年生になってくるときには複式学級の可能性が出てくるのが懸念されておりますので、また注意していく必要があると考えております。学校再編については以上です。

教育長

学校再編について、新たな部分も説明していただきましたが、いかがでしょうか。

金原委員

田原南部小の生徒数は今からかなり増加します。学校再編の対象小学校の第二期、平成32年から36年に田原南部小が入っているんですけど、もう一回考える時期に来ているのではないですか。

教育部長

計画のまた見直しをします。そのときに検討します。

結構グリーンタウンが大分ふえてきてまして、今の就学前の子どもたちが非常に多くなってきていますので、今後120人を当然越してきますので、その辺の計画を加味していくのかなという気がしております。

教育長 この間、私たちが説明に行ったときにも、学校全体配置計画がある意味一人歩きしている部分がありました。これで決定ではなく、これをもとにさらに考えていくと説明したのですが、質問をされない方でも新聞に載った案がそうなんだなと思われている方もいます。教育委員会としては、たたき台という言い方よりはまずはメインの計画ということで共通理解したいなと思います。さっき話題になった田原南部小は現況では、この平成36年までのところが書いてありますが、状況も変わってくれば動きも変わるものと思っています。

金原委員 それでは再編について、よろしいですか。

教育企画室長 もう1点いいですか。伊良湖岬小学校は、スクールバスで通学していますけれども、何らトラブルとかはなく通学していますか。

教育長 はい。多少車酔いした子がいるということはありませんけれども、特にトラブルは聞いてないです。

教育総務課長 今までリレーも組めなかったところもあったので、あしたの伊良湖岬小学校の運動会では、どんなふうになるかなと見て来たいと思っています。4月はちょっとバスで大変な部分もあったかなと思いますけど、だんだん慣れてきたのではないかと感じております。

教育長 では、再編については以上でよろしくお願ひします。

教育総務課長 では、その次は小中学校の寄附についての報告をお願いします。

教育長 本日お配りした資料でお願いいたします。4月以降の寄附の関係でございまして、1番と2番につきましては、先ほど補正予算のところ
教育総務課長 で報告させていただきました4月16日に匿名の方より中部小学校の図書館用図書充実のためということで10万円、これは先ほどの6月補正の対応とさせていただきます。

教育長 2番目の森島様につきましても、1万円で今回歳入の補正を上げさせていただきます。

教育長 3番目、4月30日に堀井下枝様より、教育振興のために中学校に書籍10冊をいただきました。各中学校に配付したいと思っております。

教育長 以上です。

教育長 寄附についての説明がありました。

図書館長 続いて、田原市生涯読書振興計画について、報告をお願いします。

教育長 それでは概要について説明させていただきます。

教育長 なお、3月にも一度ご報告しておりますので、若干重複する内容があるかと思いますが、御容赦ください。

教育長 まず、本計画の基本的な視点についてです。現在、田原市子ども読書活動推進計画が昨年度で最終年度となっており、これを引き継ぐ計画になります。対象を全生涯に広げるということになります。

計画の愛称、まち＊ほんということで、まちと本を掛け合わせるといっていますが、を考えた末に「＊(アスタリスク)」に変えました。

読書だけではなく、読書を通じた人と人の交流を大切にして生涯読書のまちづくりを推進していくこと。それから、子ども読書活動推進計画のときからのビジョンとして、だれもが自然に読書に親しめるまちというのがあり、これを引き続きビジョンとして採用していきたいと考えております。

計画の前提となる諸課題ですが、これは緊急課題対応プランの中でも既に指摘されていることですが、学校図書館については、読書振興という面では非常に成果を上げたけれども、授業支援面では不十分であること。中央図書館周辺とその他の地域は格差があること。障害者を始めとする読書弱者は非常に利用が低調であること。それから、デジタル化やPRの取組が不十分であることがございます。

これらの課題に対応する取組施策の重点的なものとしては、学校図書館支援。それから渥美、赤羽根両図書館を地域の情報と交流の拠点として充実させていくこと。それから読書や図書館利用に障害のある人たちの使いやすい読書環境を追究すること。さらにその地域文化資源の発掘・保存・活用、デジタル化の研究と施行など。このあたり、ふるさと学習ということとも深くかかわってくるわけですが、東三河レベルで連携をしつつ取り組んでいきたいということ。それから生涯読書をPRする事業、あるいは市民と共同の事業を促進していくということでもあります。

これ以外の事業も基本的には、育ち・学びの世代、働き・子育ての世代、成熟の世代とこの3世代別の施策としていこうと考えています。

図書館の役割、目標及び管理運営につきましては、既に田原市図書館の目標がございしますので、この達成を通じて読書振興に関する施策を実行する中心的な機関としての役割を図書館が担っていくということ。図書館は指定管理者によらず直営で、こうしたことを市民協働で進めながら効率的に質量ともに高い水準のサービスを実現していくことを考えております。

6番目、計画期間、実施体制等ですけれども、本計画のスケジュールとしては、平成27年度から31年度の5年間を計画期間としております。

平成28年度にアンケート調査を実施し、平成29年度は、アンケート調査や、現在学校において実施中の学校図書館活用研究モデル校事業の成果を踏まえて計画のローリングを行い、平成31年度には第二次計画を策定していく予定をしております。

実施体制につきましては、図書館協議会のお知恵をかりながら、協議会と図書館が二つの車輪となりまして各部署と、あるいは各団体と協議連携しながら進めていくと予定しております。

本計画については田原市教育振興基本計画の体系化という位置づけとなります。策定スケジュールにつきましては、先ほど御説明申し上げたとおりです。以上です。

教育長

まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画についていかがでしょうか。

では、田原市生涯読書計画について、よろしいでしょうか。

教育企画室長

次に、平成27年度の共催・後援事業についての報告をお願いします。文化生涯学習で共催・後援をしたもののリストでございますので、ごらんください。

教育長

続いて、学校評議員名簿等についてお願いします。

教育企画室長

こちらにつきましてもごらんください。よろしくお願いします。

教育長

そのほかでどうでしょうか。

教育企画室長

特にございません。

教育長

では、ないようですので、本日の議事等はすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、第5回田原市教育委員会定例会を閉会させていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午後11時17分